

<p>プロジェクト管理 プロセス群</p> <p>知識 エリアの プロセス</p>	<p>立上げプロセス群:新しいプロジェクトやプロジェクトフェーズを開始するための公式な認可を支援する</p>	<p>計画プロセス群:目標を定め、それを洗練し、プロジェクトが取り組むべき目標とスコープを達成するために必要な一連の活動を計画する</p>	<p>実行プロセス群:プロジェクト管理計画書を実行するために、人やその他の資源を統合する</p>	<p>監視コントロールプロセス群:潜在的な問題をタイムリーに識別できるように、プロジェクトの実行を監視。必要に応じて是正処置を講じられるように、プロジェクトの実行を制御</p>	<p>終結プロセス群:プロダクト、サービス、所産を正式に受け入れ、プロジェクト（またはフェーズ）を公式に終了する</p>
<p>プロジェクト管理統合:プロジェクト管理の様々な要素を統合するプロセス</p>	<p>プロジェクト憲章作成(プロジェクト選定手法。プロジェクト管理 (PM) 方法論。PM 情報システム (IS)、専門家の判断) プロジェクトスコープ記述書 (暫定) 高レベルの記述</p>	<p>プロジェクト管理計画書作成 (PM 方法論。PMIS (構成管理、変更管理)。専門家の判断) プロジェクト管理計画書は、プロジェクトの実行、監視コントロールおよび終結の方法を規定する。その内容は、プロジェクトの適用分野と複雑さによって異なる。それは、統合変更管理プロセスを通じて更新され、改訂が行われる。PM 計画書作成プロセスは、すべての補助の計画書の定義、統合、調整等を行い、プロジェクト管理計画書とするために必要な活動からなる。</p>	<p>プロジェクト実行の指揮・管理 (PM 方法論。PMIS) プロジェクトスコープ記述書に規定された作業を達成するために、計画したプロジェクトアクティビティの実行を指揮し、プロジェクト内に存在するさまざまな技術上と組織上のインタフェースの管理をおこなう</p>	<p>プロジェクト作業の監視コントロール (PM 方法論。PMIS。プロジェクトのパフォーマンスの測定と予測を行うアーンド・バリュ法。専門家の判断)。統合変更管理 承認・却下、承認済み変更のベースラインへの組み込み</p>	<p>プロジェクト終結 事務終了手順。契約終了手順</p>
<p>プロジェクトスコープ管理:プロジェクトの成功に必要な作業を過不足なく含めることを確実にするために必要なプロセス</p>		<p>スコープ計画 (専門家の判断、テンプレート・書式・標準) スコープ定義 (プロダクト分析 (システム分析/工学、価値工学価値分析、機能分析)。代替案識別(ブレインストーミング、水平思考)。専門家の判断。ステークホルダー分析) WBS 作成 (テンプレート。要素分解)</p>		<p>スコープ検証 (検査) スコープコントロール (変更管理システム。差異分析。再計画。構成管理システム)</p>	
<p>プロジェクトタイム管理:プロジェクトを所定の時期に完了させるために必要なプロセス</p>		<p>アクティビティ定義 (要素分解。テンプレート。直近の作業は下位レベルまで詳細に、遠い先は上位レベルだけ) WBS を定めるローリング・ウェーブ計画法; 専門家の判断; 計画構成要素)。アクティビティ順序設定 (プレシデンスダイアグラム法、アロー・ダイアグラム法、スケジュールネットワークテンプレート、依存関係の決定 (強制、任意、外部依存関係) アクティビティ資源見積り (専門家の判断。代替案分析。公開見積りのデータ。プロジェクト管理ソフトウェア。ボトムアップ見積り) アクティビティ所要期間見積り (専門家の判断、類推見積り、係数見積り、三点見積り、予備設定分析)、スケジュール作成 (スケジュールネットワーク分析、クリティカルパス法、スケジュール短縮、what-if シナリオ分析、資源平準化、クリティカルチェーン法、プロジェクト管理ソフトウェア、カレンダーの適用、リードとラグの調整、スケジュールモデル)</p>		<p>スケジュールコントロール (進捗報告、プロジェクトスケジュールを変更する際の手続きを規定したスケジュール変更管理システム。スケジュールの差異に対して是正処置が必要か否かを決定するパフォーマンス測定 (スケジュール差異、スケジュール効率指数)。プロジェクト管理ソフトウェア。目標スケジュール日付を予測開始日や実開始日及び実終了日と比較する差異分析。バー・チャートによるスケジュール対比)</p>	
<p>プロジェクトコスト管理:プロジェクトを承認された予算内で完了させるために必要なプロセス</p>		<p>コスト見積り (類推見積り、資源単価、ボトムアップ見積り、係数見積り、プロジェクト管理ソフトウェア、ベンダー入札の分析、予備設定分析、品質コスト)、コストの予算化 (コスト集約、予備設定分析、係数見積り、限度金による資金調達)</p>		<p>コストコントロール (コスト変更管理システム。アーンドバリュ法によるパフォーマンス測定分析、予測。プロジェクトのパフォーマンスレビュー。プロジェクト管理ソフトウェア。差異管理)</p>	

<p>プロジェクト品質管理：プロジェクトが所定の目標を満たすことを確実にするためのプロセス</p>		<p>品質計画 (費用便宜分析によるトレードオフスタディ。ベンチマークによる比較改善。実験計画法による開発中のプロダクトやプロセスの特定の変数に影響を与える要因の識別。品質コスト。品質計画ツール)</p>	<p>品質保証 (品質計画のツールと技。品質監査。プロセス分析。品質管理のツールと技法)</p>	<p>品質管理 (特性要因図、管理図、フローチャート化、ヒストグラム、パレート図、ラン・チャート、散布図、統計的サンプリング、検査、欠陥修正レビュー)</p>	
<p>プロジェクト人的資源管理プロジェクトチームを組織化し管理するためのプロセス</p>		<p>人的資源計画 (チームメンバーの役割と責任を階層型、マトリックス型、テキスト型のいずれかの書式で記述する組織図と職位記述図。積極的相互交信、昼食会議、非公式の会議、取引上の会議などの人的資源のネットワークキング。要員、チーム、単位組織などの行動様式に関する情報を提供する組織論)</p>	<p>プロジェクトチーム編成 (先行任命、交渉、調達、バーチャル・チーム) プロジェクトチーム育成 (一般的な管理スキル、トレーニング、チーム形成活動、行動規範、コラボレーション、表彰と報酬)</p>	<p>プロジェクトチーム管理 (観察と会話、プロジェクトのパフォーマンスの評価、コンフリクト管理、課題ログ)</p>	
<p>プロジェクトコミュニケーション管理プロジェクト情報の生成・収集・配布・保管・廃棄をタイムリーかつ適切に行うために必要なプロセス</p>		<p>コミュニケーション計画 (コミュニケーションに対する要求事項の分析によってプロジェクトステークホルダーの情報に関するニーズを収集する。情報の緊急度、技術の可用性、予想されるプロジェクト要員配置、プロジェクト期間、プロジェクト環境などのコミュニケーション技術)</p>	<p>情報配布 (コミュニケーションスキル、情報収集システム、情報配布手法、教訓プロセス)</p>	<p>実績報告 (情報提示ツール、パフォーマンス情報の収集・編集、状況レビュー会議、タイム報告システム、コスト報告システム)</p>	
<p>プロジェクトリスク管理プロジェクトのリスク管理を行うプロセス</p>		<p>リスク管理計画 (計画会議と分析)、リスク識別 (文書レビュー。情報収集技法 (ブレインストーミング、デルファイ法、インタビュー、根本原因の識別、強み、弱み、好機。脅威の視点から分析する SWOT 分析)。チェックリスト分析。前提条件の妥当性分析。図解の技法 (特性要因図、システムやプロセスのフローチャート、インフルエンス・ダイアグラム)) 定性的リスク分析 (リスク発生確率・影響度査定、発生確率・影響度マトリクス、リスクデータ品質査定、リスク区分、リスク緊急度査定)、定量的リスク分析 (データ収集・表現技法。定量的リスク分析とモデル化の技法 (感度分析、期待金額価値分析、デジジョン・ツリー分析)) リスク対応計画 (マイナスのリスク (脅威) に対する戦略 (回避、転嫁、軽減)。プラスのリスク (好機) に対する戦略 (活用、共有、強化)。脅威・好機両面戦略。発生時対応戦略)</p>		<p>リスクの監視コントロール (定期的に実施するリスク再査定、識別したリスクとその根本原因に対するリスク対応策の有効性やリスク管理プロセスの有効性を調査し文書化するリスク監査。アールドバリュ分析による差異・傾向分析。技術的実績の測定。プロジェクトの任意の時点で残存している予備が十分であるかどうかを、コンティンジェンシー予備の残存量を残存リスク量と比較する予備設定分析、状況確認会議)</p>	
<p>プロジェクト調達管理：プロダクト、サービス、所産の購入または取得のプロセス</p>		<p>購入・取得計画 (内外製分析。専門家の判断。契約タイプ (定額契約または一括請負契約、実費償還契約 (コストプラスフィーまたはコストプラスパーセンテージ、コストプラス固定フィー、コストプラスインセンティブフィー)、タイム・アンド・マテリアル契約))、契約計画 (標準書式、専門家の判断)</p>	<p>納入者回答依頼 (入札説明会、入札公告、適格納入者リストの作成)、納入者選定 (重み付け法、独自見積り、スクリーニングシステム、契約交渉、納入者点数評価システム、専門家の判断、プロポーザル評価法)</p>	<p>契約管理 (契約変更管理システム、購入者主催のパフォーマンスレビュー、検査および監査、実績報告、支払いシステム、クレーム管理、記録管理システム、情報技術)</p>	<p>契約終結 (調達監査、記録管理システム)</p>

マトリックスの格子点には、関連するプロセスと、そのプロセスを実行する際に利用できるツールと技法を記す。